

報告書抄録

ふ り が な	きょうとふいせきちょうさほうこくしゅう
書 名	京都府遺跡調査報告集
副 書 名	
巻 次	第172冊
シ リ ー ズ 名	京都府遺跡調査報告集
シリーズ番号	第172冊
編 著 者 名	中川和哉・綾部侑真・引原茂治・岡崎研一・清水早織
編 集 機 関	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
所 在 地	〒617- 0002 京都府向日市寺町南垣内40番の 3 TEL 075(933) 3877
発 行 年 月 日	西暦2018年 3 月30日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡 番号	° ' "	° ' "		m ²	
てらまちきゅういき・ ほうじょうじあと 寺町旧域・法成 寺跡	きょうとしかみぎょ うくてらまちこうじ んぐちさがるまつか げちょう 京都市上京区寺 町荒神口下ル松 蔭町 131 他	26102	170 242	35° 01' 14"	135° 46' 04"	20140609 ～ 20160802	5,210	建物建設

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
寺町旧域・法成寺跡	寺院跡	安土桃山～江戸	柱穴・溝・土坑・井戸・墓	土師器・須恵器・陶磁器・漆器・瓦・銭貨・石製品・鉄製品・銅製品	

所収遺跡名	要 約
寺町旧域・法成寺跡	藤原道長が寛仁4(1020)年に創建した法成寺跡の境内付近にあたるが、寺に関連する遺構の検出には至らなかった。寺町旧域の基盤となる鴨川の河川堆積土内から緑釉瓦片が出土した。豊臣秀吉は、天正18(1590)年に京都の町割りを再編成し、京都市中に散在していた寺院を加茂川西岸に移転させて形成した寺町の一画にもあたる。寛永14(1637)年の「洛中絵図」には、行願寺(革堂)・専念寺・常念寺・三福寺が描かれる。今回の調査で、これらの寺境がわかるとともに、常念寺の本堂と墓域などの配置が明らかになるなど、秀吉が形成した寺町の土地利用や、安土桃山時代から近世にかけての葬墓制の実態がわかる貴重な調査事例となった。